

◀ 今日の主なニュース ▶

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆4月の景気判断、2カ月連続上方修正 2年4カ月ぶりに「改善」

・内閣府は4月の景気動向指数の改定値で、景気の基調判断を「上方への局面変化を示している」から「改善を示している」に上方修正。「改善」の判断は2023年12月以来、2年4カ月ぶり。改善は景気拡張の可能性が高いと定義。基調判断の引き上げは2カ月連続。3カ月移動平均は前月から0.06ポイントのプラスと4カ月連続で上昇。

◆家庭用エアコン、フロン回収を幅広く義務付けへ 経産・環境省

・経済産業省と環境省は有識者会議でフロン類の排出抑制に向けた対策案をまとめた。家庭用エアコンの冷媒に使うフロンの回収を処理業者にも義務付ける案が骨子。温暖化ガスであるフロンの適正処理を徹底。対策案にはフロン放出の防止について「法による対応を検討すべき」と明記。フロン排出抑制法の義務対象に家庭用エアコンを加える改正検討。

◆価格転嫁率54.2%、昨秋からの改善は小幅 取適法施行後初の調査

・中小企業庁は中小企業の価格交渉や価格転嫁に関する調査結果を公表。3月時点の価格転嫁率は54.2%となり、25年9月の53.5%から小幅に改善。中小受託取引適正化法(取適法)が1月に施行された後、初めての調査。4～6月に全国の約30万社を対象に約7万社が回答。原材料費などのコスト増加分のうち、どの程度を価格転嫁できたかの割合を集計。

◀ 業界ニュース ▶

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建材値上がり加速、塩ビ管は最高値 中東余波が国内建設費を一段押し

・中東発の原料高の余波で国内の建設資材が軒並み値上がり。塩化ビニール管は最高値を更新し、鉄筋や合板も上昇基調が鮮明。原油やナフサの相場の高騰が一服しても建材のコスト転嫁は続き、建設費は一段と膨らむ見通し。「4月に発注した塩ビ管が6月によやく届いている状況」。管材・建材商社のテラダ(埼玉県深谷市)の久保茂男管材部長。

◆5月の工作機械受注、38%増の1770億円 航空機や造船向け伸びる

・日本工作機械工業会が発表した5月の工作機械受注額(確報値)は、前年同月比38%増の1770億円。プラスは11カ月連続。国内受注は37%増の453億円。航空機・造船・輸送用機械で大幅に増加。民間航空機のエンジン部品やボディーなど構造体の加工のため、まとまった受注があった。人工知能(AI)の需要の高まりも受注増に寄与。

◆5月の国内建設受注額2%減 3カ月連続マイナス

・日本建設業連合会が発表した5月の国内建設受注額は、前年同月比2%減の1兆54億円。マイナスは3カ月連続。官公庁の受注額は増えたものの、民間の受注額が5%減だったことが響いた。民間からの受注額は7624億円で、そのうち製造業は15%減の1581億円、非製造業は1%減の6043億円と落ち込んだ。「案件数自体が少なかった」としている。

◀ 注目商品 ▶

■アイリスオーヤマ、法人向けDX清掃ロボット「JILBY(ジルビー)」

・ソフトウェアとハードウェアの開発と製造を完全内製した法人向けのDX清掃ロボット「JILBY(ジルビー)」を発売。清掃完了後に自動で充電ステーションに帰還する自動充電機能や、清掃中の稼働音を抑えた静音モード、操作性・メンテナンス性の高い設計など、機能や特長を搭載。



■永大産業、4つの洗濯家事を効率化するランドリー収納

・ランドリールーム専用の収納製品「フィルフィットランドリー」を発売。洗う、乾かす(干す)、たたむ(整える)、しまうの4つの動作を1カ所に集約して洗濯家事を効率化。衣類乾燥機をカウンター下に収納して見た目をすっきりとさせつつ作業スペースも確保。



■岩崎電気、「ハンディワークライト60W・120W・200W」

・工事現場用照明として展開しているレディオックプロワークスシリーズに、新たに「ハンディワークライト60W・120W・200W」を追加。いずれもAC 100V用のプラグ付きで配線工事不要。60Wタイプは電動工具用18Vバッテリーでの点灯も可能。

